

第4号議案

令和5年度事業計画(案) (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

特定非営利活動法人
京都観光文化を考える会・都草

1 基本方針

過去3年間は、新型コロナウイルス感染拡大による大きな社会変動があり、NPO 法人京都観光文化を考える会・都草も少なからずその影響を受けてきた。

しかし本年5月に新型コロナの感染症法上の分類が「2類」から「5類」に移行されることにより、ニューノーマル（新しい常態）・アフターコロナの時代が本格的に到来したといえる。

まさにこのタイミングで、京都府庁に隣接する場所に、地域や社会の課題解決につながる持続可能な観光を標榜する文化庁が移転してきた。都草は、その名が示すように「文化」についてもよりいっそうの力を注いでいく必要がある。そして、これまで通り会員の安全を最優先しながら、新しい時代を見据えた柔軟な組織運営を行っていく。

令和5年度は、理事4名と監事1名が新たに就任した。これで令和3年度以降に就任した理事が7名となり、比較的新しい理事が理事総数の約半数を占めることとなった。このような理事会構成メンバーのダイナミックな入れ替わりは、将来へ向けて大きな力となるものと期待される。都草の理念と、「ともに京都を学び・語り・遊ぶ」という合言葉を共有しながら、会員・役員が一体となって事業を遂行していく。

新型コロナウイルス感染拡大によって、収入の中心である受託事業は減少傾向にあったが、国内の旅行者やインバウンドが戻り始めるなど、観光者数は徐々に回復してきた。こういった状況の中で、受託事業は今後増加することが予測されるが、都草としてはできるだけ多くの会員の参加を促す一方で、外部から受託する以上、責任もてる体制と内容を維持することを基本として活動する。

従来からの各部の活動を継続するとともに、デジタル化の推進が急がれることから、デジタル部門におけるハード面ソフト面を共に充実させる。

会員の皆様の、その豊富な知識と探求心、発信意欲を十分に活かすことができる活動の場の創出に引き続き努める。

国・京都府・京都市・京都商工会議所・各大学・地域団体・法人会員などとの連携を深めながら、会員の皆様と力を合わせ、ニューノーマル・アフターコロナ時代を、NPO 法人としてその社会的役割を果たしていく。

【主な具体案】

◎社会連携事業

- ・京都御苑歴史研究会では、基本的には、昨年改修作成した新マップを活用した4コースの歴史散策コースで実施する。コースごとの案内説明内容の見直しと知識のアップデート及びガイド力向上のための研修会を開催する。
- ・京都府庁旧本館旧知事室・正庁および旧議場案内を行い、都草が担当してきた半年間に6回実施の京都府庁旧本館土曜講座へ今年度も参加し、会員活動の場を維持する。
- ・文化庁の京都移転に鑑みて、文化に係ることをさらに積極的に取り組んでいく。
- ・地域の伝統行事継承支援の大船鉾ボランティア活動を継続する。
- ・美化活動は、新旧会員の活動参加をさらに促すため、社寺以外の新たな奉仕先の開拓を進め

るとともに、要請を受けながら長年実施できていない場所も奉仕先に加える。またオリエンテーションでの活動への案内を強化し、行事予定内容の充実を図る。引き続き若い運搬要員の確保に努める。

- ・京都市の「双京構想推進事業」については、市から要請があれば従来通り協力する。

◎会員事業

- ・歴史探訪会は、安全に十分に留意しながら7回実施する。未参加の会員が参加に前向きになるような探訪会の内容・コース設定の充実に取り組む。
- ・研究発表会は、会員は無料参加で、年間7回開催する。1回に2名の発表で、時間は一人80分。会員の専門知識の向上や発表の場を設けることにより会員同士のコミュニケーションを図る。また、発表を録画し YouTube で会員限定公開をする。
- ・文化交流会は、多くの会員が参加できるよう、より多彩なジャンルへの挑戦を目指し、今年度は映画村散策、鼓体験、食文化体験の3回を実施する。
- ・都草 わくわく倶楽部は、わくわく研究会と祇園祭研究会の二つの活動をしている。わくわく研究会は、年に2回の発表会とフィールドワークを実施しているが、発表会の内容については今後一般会員にも披露する場を考えていく。また、個別調査についての結果報告と、調査結果の成果は、Web の地図上で可視化する作業を進める。祇園祭研究会は、祇園祭山鉦における動物調査を完成させたのに続いて、メンバーが作り上げた祇園祭検定問題の出題分野のバランス、その内容や表現の正確さの再チェック、難易度別仕分けをしていくと共に、都草祇園祭検定問題の使い方について考えていく。
- ・京のこと語り隊は、各自でテーマ設定後、パワーポイント作品を制作し発表をしているが、より高いパワーポイント操作スキルの向上を目指す。また発表の機会を増やすため、新しい企画を実践していく。
- ・ガイド研修部門は、受講希望者に対する実地研修を登録制とし、年間毎月定期開催など前向きに考えていく。
- ・都草講演会は、都草主催の講演会を一般の方の参加も見込んで、6月・12月の年2回京都学歴彩館で開催する。今年は、「東映70年の歩み 京都撮影所を中心にして」と「紫式部と藤原道長」の2回とする。会員の知識向上のため外部から講師を招いて京都の歴史・観光・文化についてのお話しをしていただく。
- ・都草のホームページや都草だよりを通して、都草の活動方針や内容をタイムリーに発信し、会員にとって都草の活動がやり甲斐のある楽しい活動であることを再認識できるツールとする。
- ・デジタル事業部は、動画撮影でピントやズームなどを手動操作可能なカメラ等を購入する。また動画編集、PDF 編集などのソフトも購入し、より良い映像を制作する。Teams の有料化に伴い、リモート会議を ZOOM に変更し年間契約をする。
- ・映像事業は、京都の観光文化の新たな魅力を都草ならではの視点で掘り起こし、YouTube を通して情報提供をするため、最低4作品の制作を目指す。その際に、都草の他の事業と連携した作品を最低1作品制作する。制作技術の向上と普及・伝承を推進するためにもより多くの会員参加を促す。また、映像制作者としての‘都草’を広く知らしめる。
- ・会員台帳システムの機能を十分に活用し、会員の積極的な活動参加や活動の利便化・充実化に結び付ける。

◎主催事業：

- ・都草主催の京都通模擬試験は、受験者総数220名を目標とし、10月下旬に開催する。京都検定1級受験者に一層役立つよう、解答解説講習時間を150分に増やす。また、1級合格のための問題演習を中心にした対策講座を、本試験 1 か月前までを目途に京都・東京の2会場で開催する。

◎受託事業：案内業務

- ・京都府庁旧本館旧知事室・正庁および旧議場・京都高齢者大学校・三井ガーデンホテル京都・京都東急ホテル・単発ガイド等のツアーガイド業務は引き続き行う。都草に相応しい内容の案内依頼であれば、今後も NPO 法人として責任のもてる範囲で受託していく。

◎受託事業：講座業務

- ・京都商工会議所・京都新聞文化センター（株）共催の京都検定1級講習会は、社会的にも認知され、例年高評価を受けている。京都会場3回、東京会場1回で実施するが、よりよい講習会の実現のために講義方法の検討、資料の点検を行う。令和5年度は、1回の講習会を2日に分けて実施するため、講習時間の合計が前年度より4時間増で10時間となる。
- ・ヤサカ観光講座では、京都検定2級・3級を対象とした講習会を11回と補講2回を開催し、社内試験用問題を100題、2日に分けて提供する。
- ・京都の歴史や伝統文化・行事祭事等について話をする「おでかけ講座」として、京都伝統工芸大学校・京都高齢者大学校・阪急交通社「たびコト塾」・等の講座を継続する。

今後も、活動におけるデジタル化を意識したアフターコロナを見据えながら、案内・講座や執筆を通じて、質の高い京都の知識や魅力について発信していく。可能な限り多くの要請に応え、会員の勉学心・好奇心を満たす活動の場をより一層充実させる。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施予定	実施予定場所	スタッフ	対象者と予定人数
美化活動	観光地・社寺・史跡等の美化活動	年約15回	京都府内	8名	会員・一般 400名
京都御苑歴史研究会	京都御苑歴史研究会	年1～2回	未定	9名	会員 30名
	京都御苑御所 歴史散策ツアー	毎週日曜日	京都御苑・御所 4コース	23名	一般 800名
	京都御苑案内 (団体予約)	年数回	京都御苑	15名	一般 多数
伝統文化支援	大船鉾支援	令和5年 7月20日～24日	大船鉾	35名	一般 多数
府庁連携	京都府庁案内 (旧本館・旧議場)	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	府庁旧本館 府庁旧議場	17名	一般 約3000名
	旧議場土曜講座	令和5年10月1日～ 令和6年3月31日 (月1回)	府庁旧議場	4名	一般 360名
歴史探訪会	社寺・史跡等 歴史探訪会	年7回	京都府内	30名	会員 280名
文化交流	文化交流部会	年4回	京都府内	7名	会員 80名
研究発表 会・講演	都草研究発表会	年7回	ひと・まち交流館 京都、オンライン	6名	会員 200名
	都草講演会	年2回	京都府立京都学・ 歴彩館	12名	会員・一般 400名

各種研修会	ガイド研修会	年4回	ひと・まち交流館 京都	3名	会員 50名
	京のこと語り隊	年数回	各地	4名	会員 50名
都草 わくわく 倶楽部	わくわく研究会 (フィールドワーク・発表会)	年10回	京都市内	6名	部員 30名
	祇園祭研究会	年数回	京都市内 現地	6名	部員 30名
ガイド ツアー	三井ガーデンホテル	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	京都市内	6名	一般 100名
	単発依頼ガイド	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	京都市内	30名	一般 500名
京都検定 対策	京都通模擬試験	令和5年10月	ひと・まち交流館 京都 自宅	26名	会員・一般 220名
	京都商工会議所・京都新聞文化センター共催 京都検定1級対策講習会	令和5年7・8・9月 (4回)	京都経済センター 大正大学(東京)	9名	一般 400名
	京都検定1級合格対策 直前問題演習会	令和5年11月	京都・東京・自宅	10名	会員30名・一般70名
	ヤサカ観光講座	令和5年6月～11月 (11回・補講2回)	彌榮自動車	12名	ヤサカ社員 10名/回 会員 10名/回
	京都駅ビル開発 検定講習会	未定			
おでかけ 講座	京都伝統工芸大学校	令和5年4月～9月	二本松学院 オンライン	4名	学生 310名
	単発講演依頼	年数回	各地	4名	一般 150名
複合業務	京都高齢者大学校 (講座)	年8回	長浜ハイオ大学 河原町学舎	8名	一般 400名
	京都高齢者大学校 (ツアー)	月4回×8	京都市内	64名	一般 1200名
	阪急交通社(講座) 大阪	月1回+4回	梅田阪急 グランドビル30F オンライン	16名	一般 800名
	阪急交通社(講座) 東京	月1回	阪急交通社 東日本営業部 新橋センター	4名	一般 300名
月刊誌	『月刊京都』連載	月1回	京都府庁事務所 オンライン	11名	約5万部
広報	映像プロジェクト	年数本	京都府庁事務所 現地	6名	